

● シルバーの匠 第一回

シルバー人材センターには、元気に活躍されている会員が大勢いらっしゃいます。
今回は、県内最高齢会員のお二人をご紹介します。

**男性
最高年齢**

社さつま町
シルバー人材センター
宮崎 實 (95歳)

平成3年にシルバー人材センターが設立すると同時に入会し、昭和58年に取得した庭園管理士の技術を活かしながら今日まで剪定作業をしています。

家族は農業をする妻と、電気工事店を営んでいる長男の3人住まい。

《宮崎さんの一日》

朝7時前に起床し、田んぼの草払いや庭の手入れ等をしながら過ごします。ネギ、黒大豆、じゃがいも等の野菜を育て、自宅での食事が地産地消になることが何より楽しみです。

《健康づくり》

センター同好会の月2回のグラウンド・ゴルフも健康づくり、仲間づくりになり、仲間からの声かけが大きな励みになっています。

《センターでの仕事を通して》

仕事では、お客様の大事な植木を剪定する重責もありますが、しっかりと仕事をすることにより、信頼を得て、喜ばれることが大きな生きがいとなります。

就業するときは、センターの指導を受けながら、きちんとした服装から始めることが基本であることを次世代に伝えたいものです。

これまで無事故、無違反のゴールド免許で、いまだに軽トラックを運転する日々です。



《事務局より》

病院とは無縁の元気なシルバー会員です。

人生に幸あれ!!

**女性
最高年齢**

社徳之島町
シルバー人材センター
徳田 クニ (90歳)

昭和47年に取得した鹿児島県家庭奉仕員（現在のヘルパー）福祉業務に14年間従事し、6男2女の8人の子供を育てあげ、平成4年のシルバー人材センター設立と同時に入会。現在は病院内の洗濯作業で頑張っています。

《徳田さんの一日》

朝5時半に起床し、ラジオ体操。また、年中気候が暖かく、野菜等を育成するのが何より楽しみです。

《センターでの仕事を通して》

病院で洗濯作業をしていると、通りすがりの人達が「いつも頑張っているね」と声をかけてくださり、嬉しく仕事を続けることができます。

現在、元気で作業を続けられるのも、会員の皆様が励ましてくださるお陰だと感謝する毎日です。



表紙の写真
甌島のカノコユリ
鹿の斑点をぎゅっしり並べたような「鹿の子（かのこ）模様」に似ているピンクのつぼつぼが特徴のカノコユリ。
薩摩川内市甌島には自生のカノコユリが咲き誇り、6月末から8月上旬のシーズン中には、甘い香りに包まれます。

寄付のお願い
（社）鹿児島県シルバー人材センター連合会は法人税法、所得税法における「特定公益増進法人」として財務省から認定されており、皆様からの寄付に対しては、税法人の優遇措置が得られます。

お知らせ
東串良町シルバー人材センターは平成二十二年七月二十二日に一般社団法人として設立登記されました。